

国内経済は全体的に足踏み状態?! 商工会地域の業況は、全業種悪化!

— 2016年7月～9月期 中小企業景況調査報告書概要 —

日銀が10月3日に発表した9月の企業短期経済観測調査(短観)によると、企業の景況感を示す業況判断指数(D・I)は、大企業の製造業が2期連続横ばいでプラス6、非製造業はプラス18と前回(プラス19)から1ポイント悪化し、3期連続の悪化となっている。中小企業の製造業はマイナス3となり前回6月調査(マイナス5)から2ポイント改善し、7期ぶりに改善、非製造業も6月調査(±0)から1ポイント改善してプラス1となっている。

大企業・製造業の業況判断DIは、軽自動車の燃費不正問題や、4月の熊本地震による生産への影響が和らいだことで、「自動車」が10ポイント改善。スマートフォン向けの部品供給が伸びた「電気機械」も1ポイント改善した。一方で、「造船・重機等」が、新規造船の受注が減少し、22ポイントの大幅悪化となるなど、円高の影響で景況感が悪化した業種が目立った。大企業・非製造業は、円高で訪日外国人の消費が伸び悩むなどして、「小売り」が4ポイント悪化したことが響いたが、「建設」は台風被害からの復興事業などが後押しし、3ポイント改善した。

3カ月後の先行きの見通し(本年12月予測)は、大企業・製造業がプラス6で今期と横ばい、大企業・非製造業はプラス16と2ポイント悪化と予測。中小企業においては、製造業が2ポイント悪化しマイナス5、非製造業は3ポイント悪化しマイナス2と予測し、今期よりは厳しくなる見込んでいます。

内閣府が9月16日に発表した9月の月例経済報告においては、国内景気の基調判断を「景気は、このところ弱さも

みられるが、緩やかな回復基調が続いている」として6カ月連続で据え置いた。個別項目では、個人消費が「総じてみれば底堅い動きとなっている」、住宅建設が「持ち直している」と上方修正したが、設備投資については「持ち直しの動きに足踏みがみられる」と下方修正した。

商工会地域の景況調査においては、今期(2016年7月～9月)の業況に関するD・I値は、製造業が前期より8.3ポイント悪化しマイナス31.3、建設業が25.5ポイント大幅に悪化しマイナス39.1、小売業が1.7ポイント悪化しマイナス35.8、サービス業が7.2ポイント悪化しマイナス24.5となっており、全業種が前期よりも悪化している。特に、建設業は前期がマイナス13.6と全業種の中でマイナス幅が最も小さかったが、今期はマイナス39.1とマイナス幅が一番大きくなっており、業況が著しく悪化し、厳しい状況に陥っている。

来期(2016年10月～12月期)の業況予測については、製造業が今期に比べて2.7ポイント改善しマイナス28.6、建設業も2.7ポイント改善しマイナス36.4、小売業は9.0ポイントと大幅に改善しマイナス26.8になると予測している。サービス業だけは、2.0ポイント悪化しマイナス26.6と予測している。

商工会地域の景況感は、前期においては回復傾向が見られたが、今期は全業種が悪化傾向を示しており、厳しい状況となっている。来期は、改善傾向に反転することを期待している。

(中小企業景況診断士 橋本大輔)

業界天気動向図

項目	売上				採算(経常利益)				資金繰り			
	10H 12年 10月	1H 12年 10月	4 12年 10月	7 12年 10月	10H 12年 10月	1H 12年 10月	4 12年 10月	7 12年 10月	10H 12年 10月	1H 12年 10月	4 12年 10月	7 12年 10月
製造業												
建設業												
小売業												
サービス業												

各項目については次により表示した。

区分	増加 好転	やや増加 やや好転	横ばい	やや減少 やや悪化	減少 悪化	大幅に減少 非常に悪化
	DI値(前年同期比)	20.1～	5.1～20.0	5.0～△5.0	△5.1～△20.0	△20.1～△35.0
表示	快晴	晴れ	曇り	小雨	雨	豪雨

今期直面している経営上の問題点需要の停滞

(数値の左は前期構成比、右は当期割合を%で記す)

製造業		1位		2位					
1位にあげる問題点		生産設備の不足・老朽化、需要の停滞		製品ニーズの変化、原材料価格の上昇、製品(加工)単価の低下、上昇難、取引条件の悪化					
前期	今期	—	17.9	—		10.7			
建設業		1位		2位		3位			
1位にあげる問題点		官公需要の停滞		請負単価の低下、上昇難、民間需要の停滞		取引条件の悪化、熟練技術者の確保難			
前期	今期	21.1	21.1	—		15.8			
10.5		—		—		10.5			
小売業		1位		2位		3位		4位	
1位にあげる問題点		需要の停滞		大型店・中型店の進出による競争の激化、購買力の他地域への流		消費者ニーズの変化		従業員の確保難	
前期	今期	14.6	23.1	—		15.4		9.8	
9.8		—		—		12.8		9.8	
10.3		—		—		—		10.3	
サービス業		1位		2位		3位		4位	
1位にあげる問題点		利用者ニーズの変化		店舗施設の狭隘・老朽化、需要の停滞		従業員の確保難		人件費以外の経費の増加	
前期	今期	10.9	18.7	—		16.7		10.9	
12.5		—		—		—		6.5	
8.3		—		—		—		8.3	